

	提案授業Ⅰについて、ご質問・ご感想等ありましたら自由に記述してください。	提案授業Ⅱについて、ご質問・ご感想等ありましたら自由に記述してください。	本日の授業や分科会をととして、ご自身で学びとなった点や気付かれた点等
国語	<p>○付箋紙を用いた子どもたちの思考の可視化、勉強になりました。</p> <p>○身近な資料を教材化し、学習したことを生かしていたことが良かったです。子どもたちの考えをゆさぶる発問をし、さらに深めることができるとさらによかったかなと思います。</p> <p>○根拠を基に、自分の考えをまとめていく姿が「学び合い」の様子からよく伝わってきました。また、ニュースを活用して学びを生活に生かす「一般化」や振り返りによる「自覚化」が図られていて、大変参考になりました。</p>	<p>○少人数のデメリットを無くす工夫や個を大事にされる様子がよくわかる授業でした。鹿屋小との交流もできて祓川の子は幸せですね。</p> <p>○板書がスッキリしていたことやICTの活用の工夫などがすごいなと思いました！</p> <p>○モデル文を活用したり、手作りのワークシートを作成したり、動物の動画を活用したり、鹿屋小の子どもたちの動画を活用したり、教材研究がよくされていると思いました。一年生の発達段階を考えると、もっと教科書を持って音読したり、教科書に書き込んだりしても良いのではないかと感じました。</p> <p>○ワークシートを活用して、二つを比べてまとめる方法はとても分かりやすく良かったです。ただ、子どもたちはこれを普通に書かれた文章の中から見つけて出来なければならないので、本時でも教科書の全文シートを見て線を引くなどしながら読ませる活動があっても良かったのではないかと感じた。</p>	<p>○見える化を意識し、今後の授業に生かしていきたいです。</p> <p>○最後に、総括で石川先生がお話されたように、「見えないもの見える化する」ことが、今後どの教科でも必要だなと思います。今後の授業作りに参考にしていきたいです。</p> <p>○授業研究において授業者反省ではなく振り返りとして位置づけられていたり、学校を超えて多くの先生と一緒に授業をつくっていたりなど、とても参考になる取組だなと思いました。</p>
算数	<p>○「難しい」という子どもたちが一生懸命解決しようと取り組む姿がよかったです。先生が説明しているときも友達と黒板を差しながら学び合っている子どもたちの姿が見られ、夢中になっていることが分かりました。</p> <p>○子供たちが自分で学び合いの形態を選択する方法はとても参考になり、今後どんどん取り入れていきたいと思いました。</p> <p>○まとめの前の場面で、なぜ500円になったのか、この問題では100円は割合の0.2であることを掘り下げてみんなで考えることができれば、他の問題に転移できる考えに気付かせることができたのかなあと感じました。</p> <p>○最後は意見としてですが、発展問題では、数直線のヒントを見て、答えを出した子が多かったように感じたので、割合の公式や「2割引」の感覚を育むようなヒント(100円の2割引は80円など)を出してあげたかったなと感じました。</p>	<p>○まとめの場面で、児童から「テープ図」という声がたくさん聞こえました。とても重要なキーワードだったと思います。これを生かして「『テープ図を作成して』わからない数がぶ分のときは・・・」というまとめにすれば、子供たちの理解がさらに深まったと思います。</p> <p>○意見としては、単元も終末でしたので、イラストの後、「お話の式」を出す前に、子どもたちにテープ図を書かせても良かったのではないかと感じました。そうすることで、イラスト(具体的)からテープ図(やや抽象的)、そして四角を使った式や四角を求める式(抽象的)の流れとなり、今後の学習にも繋がっていきそうだと感じました。</p> <p>○ 今回の授業においては、既習事項がしっかりと定着しており、子供たちは『ぜんぶ』と『ぶぶん』を手掛かりにして、スムーズに問題を解くことができていました。</p>	<p>○分からない時は、黒板前に集まり先生からヒントを得ている場面を見て、このような方法もあるのだと新しい気付きになりました。</p> <p>○やはり授業の核をしっかり捉えて、欲張りすぎずに授業を組み立てることが大切だと改めて気づきました。</p> <p>○学びあいを充実させるために、教師の課題設定の工夫がとても大切だということに改めて気づきました。</p> <p>○学び合いの形態の複線化という考え方や、「質問・感想・意見」による学び合いの活性化は、とても参考になりました。</p>
外国語	<p>○子どもたちが、英語をたくさん聞き、学んだ英語を使うことができているなと思いました。</p> <p>○1年生からしっかりと積み上げられた学習の成果が子どもたちの英語でやりとりする姿に表れており、組織として取組を継続することの大切さを実感しました。</p> <p>○主体的なコミュニケーション活動を促すための様々な手立てを見ることができました。子供たちが自ら進んで表現し伝え合う姿がとても印象的でした。</p> <p>○高学年が完全教科化になり、教科書と従来の鹿屋スタイルとの兼ね合いが気になっていましたが、シンプルで多すぎず少なすぎずいいバランスで授業がなされていたなと思いました。</p>	<p>○担任の先生のシンプルな説明、工夫された準備により児童が3年生でありながら、グループでいきいきと自主的に活動していました。</p> <p>○子どもたちと一緒に、丁寧に外国語活動を進めていると感じました。</p> <p>○3年生はジェスチャーをふんだんに使いながら、活動して楽しそうでした。</p> <p>○クラスルームイングリッシュの自然な活用(子供による)に驚かされました。高学年での授業がより活性化するための素地作りを見せていただいた気がします。</p> <p>○ただ英語に触れるだけでなく、スリーヒントクイズでどのようなヒントを出すか、どの順序で出すかなど、グループみんなで考えて、判断するといった思考力、判断力の場があり、今後とてもヒントになる授業でした。</p>	<p>○『本物を聞かせる』といったことがとても印象に残っています。他教科との横断的な教育、関連性、子どもたちは自分たちに身近なことに興味を示します。母国語でない英語だからこそ、“本物”であることが大事だなと気づかされました。</p> <p>○新しく教科書が導入され、自分の授業は教科書の内容にしばられてしまっていたかな、と感じました。教科書の活動もすぐ効果的ですが、今日のオールイングリッシュタイムのように、もっと自由に英語を聞いたり話したりしながら、スモールトークを充実させていきたいと改めて感じました。また、1年生からの積み上げもとても大事だと感じました。クラスルームイングリッシュの活用等、参考にさせてもらいたいと思います。</p>

※スペースの関係上、皆様からいただいたアンケート結果の中から一部抜粋して掲載しています。たくさんのご回答ありがとうございました。